

# デイサービスの地域の高齢者と秋のふれあい交流

教育課程上の位置付 総合的な学習の時間

## 実施概要

今回、活動を行った施設は、平成26年12月に設立されたデイサービス施設で、学校との交流は初めてです。活動は、始めにひまわりプロジェクトで生徒が育てたひまわりの種を、男性2テーブル、女性2テーブルの各テーブルに5、6人ずつ座っている全利用者に生徒が直接プレゼントしました。次に、各テーブルの利用者の間に生徒が2、3人ずつ分かれて座り、利用者と一緒に折り紙を折りました。生徒が合唱をした後、利用者も生徒と一緒に合唱をしました。

- 活動参加者** 当校 生徒…11人 担当教員…8人
- 内訳** 交流先 利用者…23人 担当職員…8人
- 交通手段** 当校とちいきのわとの距離はおよそ1km 徒歩で約10分



一生懸命、歌いました

## 活動報告 実施日：10月18日(水)

始めに、施設代表が今回の社会貢献活動について利用者に紹介をした後、生徒代表が挨拶をして、生徒が一人ずつ緊張した面持ちで自己紹介を行いました。その後、生徒たちが学校で育てたひまわりの種を利用者一人一人に手渡し、にこやかに言葉を交わす場面が見られました。

ふれあい活動は、折り紙を折りました。利用者5、6人が着席する各テーブルに生徒が2、3人ずつ分かれて着席し、利用者と一緒に折り鶴や飛行機などを折りました。生徒が折り始めると、利用者はそれを見ながら自分でも試みていました。生徒は利用者の折る様子を気にかけてながら、折って見せるという光景が見られました。また、中には、折り紙が得意な利用者が生徒に教えるという場面も見られ、それぞれのテーブルには自然と会話が生まれ、和やかな空気が満ちていました。

次の音楽活動では、生徒が日頃練習している「RPG」の合唱を披露しました。その後、生徒が「もみじ」と「ふるさと」の歌詞カードを利用者に配り、生徒、利用者、施設スタッフ、会場全員で合唱して、活動を終了しました。

### 当日のスケジュール

- 14:00 学校、施設、SSC、都教委4者事前打合せ(事務室)
- 14:15 学校正面玄関集合 諸注意 移動開始
- 14:35 施設到着 挨拶(①施設 ②学校) 準備
- 14:40 学校紹介 プログラム説明
  - ※利用者にひまわりの種を、メッセージカードを添えてプレゼント
  - ふれあい活動(利用者と一緒に折り紙交流)
  - ※折った折り紙は、後日記念ボードに貼り付けてプレゼント予定
- 14:50 音楽活動
  - (RPG:生徒の合唱)(赤とんぼ・ふるさと:利用者合唱)
- 15:05 終わりの挨拶。片付け 移動開始
- 15:15 学校到着

### ■活動のために準備したもの

- 折り紙
- 「赤とんぼ」「ふるさと」を演奏した物を録音したCD及び歌詞カード
- ひまわりプロジェクトで本校生徒が育てたひまわりの種
- 紙工班でつくったメッセージカード

### ■工夫したところ

ふれあい交流活動として折り紙を設定した。簡単なゲーム等も施設では実施されているとのことであったが、安全面からも座ってできる活動にしました。合唱では、施設側からの要望を聞いて楽曲を設定しました。「赤とんぼ」「ふるさと」は利用者の方も一緒に歌えるように大きめのフォントで歌詞カードを用意することで全員合唱もスムーズに行うことができました。

### ■実施にあたって注意したところ

利用者の方々は高齢で、ケガや病気のリハビリをされている方もいらっしゃるため、接触などで事故が起こらないよう活動内容を設定しました。生徒には、施設の利用者の方々は人生の大先輩であることを教え、交流の際には敬語を使うことや態度や姿勢について事前指導を実施しました。

### ■良かったと思うところ

施設入所の生徒たちが地域の方とふれあうことは貴重な経験になりました。他者から感謝の言葉をいただく経験が少ない生徒たちにとって一人一人が言葉を掛けていただけたことも貴重な経験でした。

### ■今後に向けての学校からの抱負

施設から、施設を送迎車の洗車を依頼されているので、本校の清掃班が中心となって取り組む予定にします。今後も、交流会等の活動を継続していきます。

当校は、千葉県市原市にある小学部・中学部・高等部を設置する知的障害特別支援学校です。現在、児童・生徒26名が在籍しています。また、児童・生徒は、2つの福祉型障害児入所施設、「東京都千葉福祉園」と「袖ヶ浦のびろ学園」から通学するという他の都立特別支援学校と異なる環境にある学校です。社会貢献活動は、高等部を中心に近隣の病院や幼稚園との交流、地域清掃などを行ってきました。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

#### 生徒

●最初は緊張していましたが、利用者の方に「折り方が分からないから教えてね」と言われ、少し気持ちがほぐれました。私は折り紙が得意なので、もっと時間があればいろいろな折り紙と一緒に折りたいと思いました。喜んでくれたことがうれしくて忘れられない時間になりました。

#### 教員

事前学習では、「貢献」という言葉について学習しました。生徒からは、「協力すること」「役に立つこと」など、言葉の意味について答えが返ってきました。社会や地域に貢献することは大切なことですが、貢献することで喜んでくれる人がいることや人の役に立てることに喜びを感じてもらいたいという学習計画を立てました。施設の利用者の方々と直接交流をもち、感謝の言葉を生徒一人一人にいただけたことは、生徒にとっても貴重な経験になったと思います。

### 施設の参加利用者・担当者の感想

#### 利用者

- しいの木の学校との交流は初めてでした。折り紙や歌が上手でびっくりしました。まだいろいろな才能があるのではないかと思います。それを伸ばしてもらって、また、それを紹介してほしいです。
- 皆さん、いい顔をしていてうれしかったです。
- 折り紙では、ハートができた、やっさんの顔に口紅を書いていただったりして、かわいかったです。ありがとうございました。

#### 代表取締役

生徒の皆さんはきちんと制服に身を包み、少し緊張していましたが、それがとても初々しく、ちいきのわを利用される皆様に清々しい印象を与えてくれました。これまで学んできたこと、今日のために練習してきたことを上手に発表してくれました。折り紙を利用者様と一緒に折りながら交流した後は、アニメソング、童謡を歌ってくれました。ちいきのわの利用者様もとても感動し、喜んでいて、『また、来てね』と再会を期待していました。

### ■実施までの経過 ※(コ):コーディネーター

- 7月31日 (コ)、施設を訪問。代表に今回の社会貢献活動の内容を説明し、協力を打診。施設訪問後に当校を訪問し、校長、副校長と打合せを行い、施設を紹介。対象施設としての検討を依頼
- 9月4日 校長、副校長、施設を訪問。学校を紹介し、施設の確認
- 9月28日 副校長、施設を訪問。協力を依頼。施設代表快諾
- 10月10日 (コ)、副校長、高等部主幹教諭3人で施設を訪問。施設代表と社会貢献活動の詳細を打合せを行い、プログラムを決定

### 交流先



株式会社ちいきのわ  
**ケアステーションちいきのわ**

住所:千葉県市原市椎津2644-1

### ■施設概要

- 通所介護事業(デサービス) 25名
- 居宅支援事業(介護相談)



折り紙を教えるはずが、教えてもらいました



利用者さんといっしょに鶴を折りました